

<講座名> 哲学

<所属名・氏名> 一般教育等・宮田賢人

講義内容

昨今の新型コロナウイルスの感染拡大は、私たちの日常を一変させました。こうした「非日常」の体験は、えてして、私たちが当然視してきた思考枠組をあらためて見つめなおす機会を提供するものです。本講義では、コロナ禍とそれに対する社会の対応を哲学的な観点から分析するなかで、哲学の思考の特徴を明らかにしてみたいと思います。より具体的には、本講義では、「権力とは、どのような特性をもっているだろうか」という問いを検討し、私たちが当然視してきた権力や統治のイメージを再考しようと思います。

プロフィール

哲学・倫理学の講座を担当しています。私は哲学のなかでも、法哲学という分野をとくに専門としています。法哲学というのはその名のとおり「法学」と「哲学」とがあわさった学科で、たとえば「そもそも、法が存在するってどういうこと？」とか「法の目指すべき価値ってどのようなもの？」といった法にまつわる哲学的な問いにとりくむ学科です。このように私は、社会科学と人文学の2つのバックグラウンドをもっています。この点を活かして、社会科学系の学科を専攻するみなさんに、自身の専攻学科が哲学・倫理学の観点からどのような広がりをもっているかを示すことで、みなさんの学習・研究の「幅」を広げるお手伝いをできればと思っています。

大学・ゼミ紹介

小樽商科大学には、専門学科として、経済学科・商学科・企業法学科・社会情報学科の4つの学科があります。私の所属している「一般教育等」という部門は、そうした専門学科を学ぶにあたって必要な基礎的な研究能力や教養を身につけるための授業を、主に1年生に対して提供しています。

メッセージ

経済学・商学・法学・社会情報学といった専門学科とくらべると、哲学は、浮世離れた学問という印象かもしれません。しかし、社会のなかでお金はどのように分配されるべきか？ビジネスが目指すべき理念はどのようなものか？人権とは何であり、その究極的根拠はどこにあるか？AI やビッグデータの活用は私たちの「自己」に対する意識をどのように変えるのか？等々、専門学科と哲学とが交わる問いは多いです。本学では、専攻学科以外のさまざまな学科にもふれて、「深み」と「幅」のある学識を身につけていってください。

参考図書

大澤真幸＝國分功一郎『コロナ時代の哲学』
石井大輔他『コロナ vs. AI 』
ミシェル・フーコー
『性の歴史 I 知への意志』
『社会は防衛しなければならない』
『安全・領土・人口』
檜垣立哉『生と権力の哲学』